

☆平成29年度「高知県学力定着状況調査」の結果と課題解決に向けた今後の取り組みについて

室戸中学校 平成30年3月

平成30年1月10日に、1、2年生を対象として、国、社、数、理、英の5教科について、高知県学力定着状況調査が実施されました。

今回、その結果が県教育委員会から公表されましたので、室戸中の結果と今後の取り組みについてお知らせします。

子どもたちの学力の向上は室戸中の中心課題です。新年度も引き続き取り組みを進めて参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

1年生

	国語	社会	数学	理科	英語
県平均	59.5	32.2	53.8	29.8	45.2
室中平均	66.1	41.6	63.3	39.2	47.4
県平均との差	+6.6	+9.4	+9.5	+9.4	+2.2

2年生

	国語	社会	数学	理科	英語
県平均	59.1	40.8	43.6	41.7	49.6
室中平均	63.9	47.1	44.9	51.8	50.9
県平均との差	+4.8	+6.3	+1.3	+10.1	+1.3

各教科の今後の取り組み（要約）

〈国語〉

- 1年
 - ・知識だけでなく、表現と技法を活用した授業に取り組んでいく。（文章を書く、詩を創作する。）
 - ・条件作文の活動の中で具体的な例を挙げて書かせる。
 - ・条件作文に取り組む際に時間設定を行い、時間内に書かせる。
- 2年
 - ・語句の意味を理解した上で、漢字練習を行う習慣をつけていく。
 - ・問いで求められている条件を正確に把握する。本文の内容を理解したうえで引用や要約ができるような活動に取り組んでいく。



〈社会〉

- 1年
 - ・授業では説明や発表に力を入れてきたが、細かい表現方法にも指導が必要である。
 - ・歴史的分野は振り返りを活用し、自分自身で歴史の流れを説明できる力を身につけさせる。
- 2年
 - ・授業の課題に取り組む際に時間設定をし、資料の読み取るスピードを速くする。
 - ・生徒一人ひとりが間違いを気にせず、まず自分の考えを表現する機会を充実させる。

〈数学〉

- 1年
 - ・個人思考の時間を確保し、自力解決ができるようにする。
 - ・日々の授業で順序だてた解答の仕方を意識させる。
- 2年
 - ・個人思考の時間を確保し、自力解決をさせる。
 - ・日々の授業で数学用語を意識させる。
 - ・思考力問題集を活用する。

〈理科〉

- 1年
 - ・実験やまとめを聞き返し、具体的に説明できる力を身につけさせる。
 - ・生徒同士でお互いの説明し合わせる場面を設定する。
- 2年
 - ・グラフや資料を活用して解く問題や授業を計画的に行う。
 - ・単元末に学習を振り返るような問題を活用する。



〈英語〉

- 1年
 - ・たくさんの文をインプットし、書く活動につなげていく。
 - ・代名詞を使って、つながりよく書くことにも日常的に取り組んでいく。
- 2年
 - ・書く問題においては無回答率が依然として高い。間違ってもいいので書こうとする意欲や、書こうとする気持ちを大事にする指導をしていきたい。
 - ・帯活動などで色々な表現をできるだけ多くインプットすることで、「書く」ことにつなげる。
 - ・読むことに関しては、多読の機会を与え、読むことに慣れさせる。

特徴的な問題（1年生・社会科）

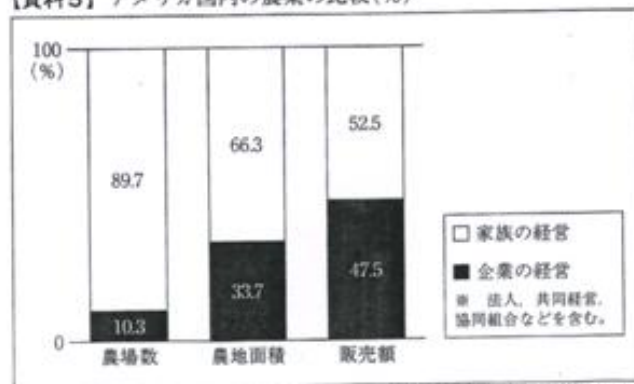
（出題の意図）

過去の高知県学力定着状況調査において、「資料から情報を関連付けて書く事に課題がある」ことから、その改善状況を見るために出題しています。

問題 4（4）

アメリカ合衆国の農業は、経営の方法に特徴があると考え、資料を集めました。下の【資料5】は、農場を経営の仕方により「家族の経営」と「企業の経営」の2つに分類し、その割合を比較したものです。【資料5】から読み取れる、企業が経営している農場の特色を、農場数と農地面積および販売額を関連させて書きなさい。

【資料5】アメリカ国内の農業の比較（％）



〔米国農務省、農業統計局農業センサス2002などから作成〕

- ・アメリカ合衆国の企業が経営している農場の特色について説明すること。
[県の 正答率15.2％ ・ 無回答率28.1％]